

44 番の歌 謙遜な人の祈り

アドバイスするとき、ヨブ記が役立つ

「ヨブ、私の言葉を聞いてください」。ヨブ 33:1

ポイント：ヨブ記からどうすれば良いアドバイスができるか学べます。

1-2. ヨブの3人の友人とエリフは、どんな難題に取り組む必要がありましたか。

裕福なヨブが全てを失った、という衝撃的なニュースが広まります。ヨブの身に降り掛かったことを聞いたエリパズ、ビルダド、ツォフェルは、ヨブを慰めるためウツにやって来ます。3人は苦しんでいるヨブの姿を目の当たりにしてショックを受けます。

2 ヨブは何もかも失っていました。たくさんの羊や牛、ラクダやロバを奪われ、子供たちや召し使いたちを殺されました。子供たちがいた家も倒壊してしまいました。追い打ちをかけるように、ヨブの体には痛みの伴う腫れ物ができました。憔悴して灰の中に座っているヨブを、3人の友人は遠くから眺めています。彼らはどうするのでしょうか。耐え難い苦痛を味わっているヨブが目の前にいるのに、なんと7日間もヨブに一言も話し掛けませんでした。(ヨブ 2:12, 13そして遠くからヨブを見たが、本人だと分からなかった。3人は大声で泣いて衣服を引き裂き、土を頭上に放り上げた。13 7日間ずっと(d*7日7夜)、ヨブと一緒に地面に座っていた。ヨブの痛みが大変ひどいを見て、誰も話し掛けなかった。)そこへ、エリフという若い男性がやって来て3人の近くに座ります。ついにヨブが沈黙を破り、「いっそ生まれてこなかった方がよかった」と言います。(ヨブ 3:1-3その後、ヨブは話し始め、自分が誕生した日(d*自分の日)のことを悪く言った。2 ヨブは言った。3 「私が生まれた日は滅んでしまえ。『男の子が生まれた!』と誰かが言った夜も、11なぜ私は生まれた時に死ななかったのだろう。なぜ母の腹から出てきた時に息絶えなかったのだろう。)ヨブは慰めてもらう必要がありました。では、エリフと3人の友人はヨブに何を言うのでしょうか。どんな言い方をするのでしょうか。そこに、本当にヨブのことを気遣っているかどうか表れます。

3. この記事ではどんなことを学びますか。

3 エホバは、3人の友人とエリフが言ったことやしたことをモーセに記録させました。注目したい点があります。エリパズの発言の一部は邪悪な天使の影響を受けていたと思われます。一方、エリフの発言はエホバの聖なる力に導かれていました。(ヨブ 4:12-16さて、1つの言葉がひそかに私に伝えられ、ささやき声が私の耳に届いた。13夜、人々が深く眠っている時、私は夢を見て不安に駆られ、14ひどい恐怖に襲われた。体中の骨が恐れで満たされた。15何か(*見えない力)が顔の上を通り過ぎた。私は身の毛がよだった。16それは立ち止まったが、その姿は分からなかった。何かぼんやりと見え、静けさの後に、声が聞こえた。; 33:24, 25神はその人に親切を示して言います。『彼が墓穴に下らないようにしなさい! 私は贖い(*)を見いだした! 25彼の肉体を若い頃よりも元気にし、彼を活力にあふれた若い日々に戻そう』。)それで、ヨブ記には最

高のアドバイスと最悪のアドバイスの両方が含まれています。ヨブ記を読むと、アドバイスするときに覚えておきたいことが学べます。まず①3人の友人の悪い例を、次に②エリフの良い例を考えます。そういう記録が③どのようにイスラエル人にとってためになったか、④現代の私たちにどのようにためになるかも学びます。

3人の友人はどのようにアドバイスしたか

4.3人の友人のしたことがヨブにとって慰めにならなかったのはどうしてですか。(挿絵も参照。)

4.3人の友人は、つらい思いをしている「ヨブに同情して慰め」るために来ていました。(ヨブ 2:11 ヨブの3人の友人(*知人)は、ヨブに生じた数々の災難について聞いた。テマン人エリパズ、シュアハ人ビルダド、ナアマ人ツォファルである。3人はヨブに同情して慰めようと、一緒に行く約束をし、それぞれ自分の所からやって来た。)でも、慰めるためにしたことが逆効果になってしまいました。どうしてでしょうか。少なくとも3つの原因があります。①つ目に、ヨブの話をしっかり聞きもせず、結論を急いでしまいました。例えば、ヨブが苦しんでいるのは犯した罪の罰を受けているからだという考え違いをしました。*エリパズは、邪悪な天使の影響を受けてしまっていたため、エホバは人間を正しいなどとは思っていない、だから人間が神に喜んでもらうことは決してできない、と考えていたようです。エリパズはそういう思考パターンにとらわれていました。3回の発言全てで同じような趣旨のことを言っています。(ヨブ 4:17, 18『死にゆく人間は神よりも正しいのか。人は人を造った方よりも清いのか』。18 何と、神はご自分に仕える人のことを信じていない。ご自分の天使(*使者)をとがめる; 15:15, 16 何と、神は天使(*ご自分の聖なる者)たちを信じていない。神から見れば、天でさえも清くない。16 忌まわしくて腐敗している人間はなおさらだ! 水を求めるかのように、不正なことをしようとする人間はなおさらだ!; 22:2 「人は神の役に立てるだろうか。洞察力がある人は神の力になれるだろうか。)(ヨブ 4:7 思い出してほしい。無実なのに滅びた人がいるだろうか。正直な人がいつ滅ぼされただろうか。; 11:14 もし悪いことをしているのなら、やめなさい。あなたの天幕に不正を住まわせてはならない。)②つ目に、3人のアドバイスは不親切でヨブを傷つけました。もっともらしく聞こえても、中身の無いアドバイスでした。(ヨブ 13:12 あなた方の賢い(*ありがたい)言葉は灰の格言だ。あなた方の言い分は粘土の盾のようにもろい。)ビルダドはヨブに、いつまで話し続けるのかと2度も冷たく言いました。(ヨブ 8:2 いつまでそんなふうに話し続けるのか。あなたの口から出る言葉は強い風にすぎない!; 18:2 いつになったら、そのひどい話をやめるのか。物分かりが良ければ、私たちが話してあげよう。)ツォファルは、ヨブが「愚か」だと決め付けました。(ヨブ 11:12 愚かな人は、野ロバが人間を産まない(*が人間として生まれぬ)限り、理解力が得られない。)③つ目に、3人はヨブに声を荒げることはなかったかもしれませんが、見下した、嫌みっぽくて責めるような話し方をしました。(ヨブ 15:7-11 あなたは誰よりも先に生まれたのか。丘よりも前に生まれたのか。8 神の内密の話を知るのか。知恵はあなたにしかないのか。9 私たちが知らないどんなことを、あなたは知っているのか。私たちが理解していないどんなことを、あなたは理解しているのか。10 私たちの中には白髪の人でも老人もいる。あなたの父親よりずっと年上の人でも。11 あなたは神に十分慰めてもらったのではないか。優しい言葉がまだ足りないというのか。)結局のところ、3人は傷ついたヨブの心を癒やし、エホバをもっと信じるよう助けるどころか、ヨブの間違いを証明することに夢中になってしまいました。



アドバイスするとき、見下すような言い方をしない。

相手を助けることを目指す。(4節を参照)

5. 3人の友人のアドバイスはヨブにどんな影響を与えましたか。

5 ヨブが3人の言葉に慰められるどころか、打ちのめされたのも当然です。(ヨブ 19:2 いつまで私をいら立たせ、言葉で打ちのめすのか。) 自分を弁護したくなかったのも無理はありません。ヨブはバランスの取れた考え方ができなくなり、言うべきではないことを言ってしまう。(ヨブ 6:3 今それは海の砂よりも重い。だから私は言葉が過ぎたのだ(*軽率に話してしまった), 26 絶望した人の言葉は、風に吹き飛ばされるようなもの。それなのに私の言葉を戒めようとたくらむのか。) 3人は、エホバがヨブに伝えたいと思っていることを話すことができませんでした。ヨブを思いやることもできませんでした。そのつもりはなかったとはいえ、サタンにいいように使われてしまいました。(ヨブ 2:4 サタンはエホバに答えた。「誰でも自分の身が一番(d*皮膚のためには皮膚)です。人は自分の命を守るために、自分が持つもの全てを差し出します, 6 エホバはサタンに言った。「いいだろう、あなたの手に委ねよう。ただし、命を奪ってはならない!」) ヨブの物語のこの部分はイスラエル人にとってどのようにためになったでしょうか。私たちにってはどのようにためになりますか。

6. イスラエルの長老たちは、ヨブの3人の友人たちの悪い例からどんなことを学べ

たはずですか。

6 イスラエル人にとってどのようにためになったか。エホバはイスラエル国民に律法を与えた後、民を正しく裁くため、信頼できる男性たちを選びました。(申 1:15-18 私は、部族の長、賢くて経験のある男性たちを、皆さんを導く人として、千人長、百人長、五十人長、十人長、部族の役人に任命しました。16 その時、私は裁判人たちに指示しました。『兄弟たちの間の問題を扱う時、兄弟たち同士あるいは兄弟と外国人居住者とを正しく裁かなければなりません。17 裁きの時に不公平であってはなりません。身分の低い人が述べることを、身分の高い人の場合と同じように聞くべきです。人を恐れてはなりません。裁きは神から来るからです。皆さんにとって難し過ぎる件は私の所に持ってきてください。私が聞きます』。18 私はその時、皆さんが行うべきことを全て指示しました。:27:1 モーセはイスラエルの長老たちと一緒に、民にこう命じた。「私が今日命じるおきて全てを守りなさい。) そういう長老たちは、アドバイスしたり裁いたりする前にまず相手の話をよく聞く必要がありました。(代二 19:6 それから裁判人たちに言った。「自分がすることをよく考えなさい。皆さんは人のためではなくエホバのために裁くからです。判決を下す時、神は皆さんと共にいてくださいます。) 自分が全ての事実を知っていると思い込むのではなく、質問することも大切でした。(申 19:18 裁判人たちは徹底的に調査します。もしその証人が偽りの証言をしており、自分の兄弟に無実の罪を着せていたのであれば、) 助けを求めてきた人たちに、きつい話し方をすべきではありませんでした。いらいらした気持ちが伝わると、相手は心を閉ざして本当のことを言わなくなってしまうかもしれません。(出 22:22-24 どんなやも

めや父親のいない子供(*孤児)も苦しめてはならない。23 もし苦しめるようなことがあって、その人が私に向かって叫ぶなら、私は間違いなくその叫びを聞く。24 私は怒りに燃え、あなたたちを剣で殺す。あなたたちの妻はやもめになり、子供たちには父親がいなくなる。) **イスラエルの長老たちは、ヨブの物語からたくさん学べたはず**です。

7. イスラエル人はヨブの物語からどんなことを学べたはずですか。 (格言 27:9)

7 **仲間にアドバイス**したのは**長老たちだけではありませんでした。老若男女を問わず、全てのイスラエル人**がお互いに**アドバイス**できました。**改善点**を指摘したり、仲間が**エホバともっと親しくなれるよう**にしたりするためです。(詩 141:5 **正しい人が私を打つとしても、それは揺るぎない愛の表れ**です。私を戒めるとしても、それは**頭に注がれる油**のようであり、私がそれを拒むことは**ありません。彼らが災難に遭う時、私は祈り続けます。**) **相手のため**を思って**アドバイス**するのは、**本物の友情の証し**です。(格言 27:9 **油と香は心を喜ばせる。誠実な助言を与えてくれる友もそうである。**を読む。)イスラエル人は誰かにアドバイスしようと思うとき、**ヨブの3人の友人を反面教師にできたはず**です。アドバイスするときに**どんなことを言うべきではないか、どんなことをするべきではないか**が**学べた**からです。

8. アドバイスするとき、どんなことに気を付けるべきですか。 (写真も参照。)

8 **私たちにとってどのようにためになるか。**私たちは、**兄弟姉妹が苦しんでいるとき力になりたい**と思います。でも、ヨブの3人の友人のようになってはいけません。まず、**アドバイスする前によく事実を確認**します。**結論を急いだりしません。**次に、**聖書を基**にしてアドバイスします。**エリパズのように、自分の考えで話すべきではありません。**(ヨブ 4:8 **私が知る限り、有害なことを植える(*たくらむ)人や、面倒なことをまく人は、植えてまいたものを刈り取る。:5:3 愚かな人は勢いづいたが、突然その人の住まいは災いに遭った、27 さあ、私たちはこうしたことを調べ、事実だと知った。聞いて、受け入れなさい。)**さらに、**相手を責めるような冷たい話し方**をしないようにします。もちろんエリパズもほかの2人も、**正しいことを何も言わなかったわけ**ではありません。後に**パウロがエリパズの言葉を引用したほど**です。(ヨブ 5:13 **神は、賢い人がその人自身のずる賢さに捕らわれるようにする。抜け目がない人の計画が行き詰まるようにする。**を**コリント第一 3:19** **この世の知恵は神にとっては愚かなものだからです。「神は、賢い人がその人自身のずる賢さに捕らわれるようにする」と書かれています。と比較。)**でも3人は**ほとんどの発言**の中で、**エホバについて事実とは違うこと**を言い、**ヨブを傷つけ**ました。それで、そのことを**エホバからはっきり指摘**されました。(ヨブ 42:7, 8 **エホバはヨブに話し終えた。エホバはテマン人エリパズにこう言った。「私の怒りは、あなたとあなたの2人の友人に対して燃えている。あなたたちは、私に仕えるヨブとは異なり、私について真実を語らなかつた。8 さあ、雄牛7頭と雄羊7匹を連れて、私に仕えるヨブの所に行き、自分たちのために全焼の犠牲を捧げなさい。私に仕えるヨブがあなたたちのために祈る。愚かなことをしたあなたたちを処罰しないでほしいと。私はその願いを必ず聞き入れる。あなたたちは、私に仕えるヨブとは異なり、私について真実を語らなかつた。」)**) 私たちも**アドバイス**するとき、相手に「**エホバは厳しい**」とか「**エホバは愛してくれていない**」などと思わせたくは**ありません。**次に**エリフから学べることを考え**ましょう。



アドバイスするとき心掛けたいこと。

(1) 事実を確認する、(2) 聖書を使う、(3) 温かい話し方をする。(8節を参照)

エリフはどのようにアドバイスしたか

9.3 人の友人とのやりとりの後、ヨブが慰め正してもらう必要があったのはどうしてですか。エホバはどうやってヨブを助けましたか。

9 ヨブと3人の友人のやりとりの後、その場の空気はとても張り詰めていたはずですが、聖書の28の章にも及ぶ長い話し合いでしたが、ほとんどは怒りやいら立ちに任せられた発言でした。ヨブは心の傷が全く癒えていません。慰めてもらい、正してもらう必要があります。エホバはどうやってヨブを助けるでしょうか。エリフを通してヨブにアドバイスします。でも、エリフはすぐに話さず、ヨブと3人の友人の話し合いが終わるのを待っていました。どうしてでしょうか。こう言っています。「私は若く、皆さんはお年を召しています。それで私は敬意を込めて身を引き.....ました」。(ヨブ 32:6, 7) ところでズの子孫、バラクエルの子エリフは話し始めた。「私は若く、皆さんはお年を召しています。それで私は敬意を込めて身を引き、自分が知っている事を述べませんでした。7『年老いた者(d*日々)が語り、年を重ねた者が知恵を知らせればよい』と考えました。エリフは、人生経験のある年長の方が、若い人よりも知恵があるということを知っていました。確かにその通りです。でも、エリフはヨブと3人のやりとりを聞いて、黙ってられなくなりました。こう言っています。「ただ年を取れば賢くなるのでも、ただ年を重ねれば正しい事を理解するのでもありません」。(ヨブ 32:9) ただ年を取れば賢くなる(*多くの日々だけが人を賢くする)のでも、ただ年を重ねれば正しい事を理解するのでもありません。) では、エリフはどんなことをどんなふう話すでしょうか。

10. エリフはヨブにアドバイスする前に何をしましたか。(ヨブ 33:6, 7)

10 エリフはヨブにアドバイスする前に、まず自分の感情をコントロールしました。聖書によると、エリフはヨブの話聞いて怒りを感じていました。(ヨブ 32:2-5) さて、ラムの氏族のズの子孫、バラクエルの子エリフは怒りに燃えた。なぜなら、ヨブが神の正しさよりも自分の正しさを証明しようとしたからだった。3 またエリフは、ヨブの3人の友人が答えを見つけるところか神を悪者扱いしたので、非常に怒った。4 エリフはその人たちが年上だったので、ヨブに話し掛けるのを控えていた。5 ところが3人が何も言えなくなったのを見て、怒りに燃えた。) それでも腹立ち紛れにヨブを非難したりはしませんでした。それどころか、「見てください、真の神の前で私はあなたと同じです」と言って、ヨブをほっとさせました。そうやって、緊張した雰囲気や和らげるようにしました。(ヨブ 33:6, 7) 見てください、真の神の前で私はあなたと同じです。私も粘土で形作られました。7 ですから、あなたが私を恐れておびえることはありません。私のせいで圧倒されることもありません。を読む。) それからエリフは、ヨブの6回の発言のポイントを簡潔にまとめて、ヨブの話をよく聞いていたことを伝えます。(ヨブ 32:11) 私は皆さんの言葉を待ちました。皆さんが何を言おうかと考えながら話す間、皆さんの言い分をずっと聞いていました。; 33:8-11) あなたの言葉が私の耳に入りました。私は次の言葉を確かに聞きました。9『私は清く、違反がない。私は清く、過ちがない。10 それなのに神は、私に敵対する理由を見つけ、私を敵と見なす。11 神は私に足かせをはめ、私がどこに行っても監視する。』) エリフは、その後ヨブにアドバイスした時も、ヨブの言葉を繰り返しています。(ヨブ 34:5, 6) ヨブは言いました。『私は正しい。しかし神は私を公正に扱わなかった。6 自分がどんな判決を受けるかについてうそをつけるだろうか。私の傷は治らない。違反を犯していないのに』, 9『神に喜

んでいただくとしても、何の得があるだろう』と言いました。:35:1-4 エリフは続けた。2 「あなたは『私は神よりも正しい』と言いました。それほどまでに自分が正しいと確信しているのですか。3 『あなた(c*神のことを指していると思われる)に何の関係があるのですか。罪を犯す人でも、これほどの目に遭うことはあるでしょうか』とも言っています。4 私があなたに答えましょう。あなたの友人たちにもです。)

11. エリフはヨブにどのようにアドバイスしましたか。(ヨブ 33:1)

11 エリフは、ヨブに思いやり深く敬意を込めてアドバイスしました。例えば、ヨブに名前呼び掛けました。ほかの3人は一度もそうしなかったようです。(ヨブ 33:1 ヨブ、私の言葉を聞いてください。私が語る全てを聞いてください。を読む。) それに、アドバイスするときも、ヨブにも話すチャンスを与えました。もしかするとエリフは、ヨブと3人のやりとりを聞いていて自分も話したいという気持ちになったことを思い出したのかもしれません。(ヨブ 32:4 エリフはその人たちが年上だったので、ヨブに話し掛けるのを控えていた。:33:32 言いたいことがあるなら、私に言ってください。話してください。あなたの正しさを証明したいのです。) ヨブの間違った考え方をはっきり指摘しつつ、エホバの知恵や力、公正さ、揺るぎない愛に目を向けられるよう優しく助けました。(ヨブ 36:18 それで、憤りのままに恨みを抱くことがないように気を付けてください。多額の賄賂によって道を踏み外さないでください、21-26 悪に向かわないように用心してください。苦悩したくないからといって、悪を行おうとはなりません。22 神には、強い力があります。神のような教師がいるのでしょうか。23 神に道を指し示した(if*神の道を批判した/神に弁明を求めた)人はいますか。『あなたがしたことは間違っている』と神に言った人がいますか。24 神の行いをたたえることを忘れないでください。神の行いについて人々は歌いました。25 全ての人々が神の行いを見ました。死にゆく人間が遠くから見ます。26 神の偉大さは私たちの理解をはるかに超えています。神の年の数はとうてい理解できません(*計り知れません)。:37:23, 24 全能者を理解することなど、私たちには到底できません。神は偉大な力を持っており、ご自分の公正さと正しさを曲げることは決してありません。24 それで、人は神を畏れなければなりません。神は、自分が賢いと思っている人に好意を示すことはありません。) こういうエリフのアドバイスのおかげで、ヨブはエホバからのアドバイスを聞く心の準備ができました。(ヨブ 38:1-3) そこでエホバは暴風の中からヨブに言った。2 「知らないのに言葉を発し、私の考えを覆い隠しているのは誰か。3 男らしく、私の問いに向き合ってみなさい。私はあなたに質問しよう。あなたは私に答えなさい。」) エリフの手本は、イスラエル人にとってどのようにためになったでしょうか。私たちにってはどのようにためになりますか。

12. エホバは預言者たちを通して、どのようにイスラエル国民を助けましたか。イスラエル人はエリフからどんなことを学べたはずですか。

12 イスラエル人にとってどのようにためになったか。エホバは預言者たちを通してイスラエル人を教え、正しました。例えば、裁き人の時代、デボラがまるで母親のように国民を守り、世話しました。サムエルは若い頃からエホバのメッセージをみんなに伝えました。(裁 4:4-7) その頃、ラピドトの妻である女預言者デボラがイスラエルを裁いていた。5 彼女は、エフライムの山地、ラマとベテルの間にあるデボラのヤシの木の下に座っていた。イスラエル人は裁きを求めて彼女の所に上ってくるのだった。6 デボラはアビノアムの子バラクをケデシュ・ナフタリから呼び寄せ、こう言った。「イスラエルの神エホバは命じました。『さあ、タボル山に進軍(*展開)しなさい。

ナフタリとゼブルンから1万人を連れていくように。7私は、ヤビンの軍隊の長シセラ、彼の戦車と部隊をあなたの所に、キシヨンの川(*ワジ)に連れてきて、あなたを勝たせる』」。:5:7イスラエルに村人がいなくなった。彼らがいなくなり、ついに私、デボラは立ち上がった。イスラエルで母として立ち上がった。サムエー 3:19, 20サムエルはさらに成長していった。エホバが共にいて、彼の言葉をどれも実現させた。20イスラエル全体はダンからベエル・シェバまで、サムエルがエホバの預言者として認められたことを知った。) 王たちの時代にも、エホバは次々と預言者たちを遣わしました。国民が正しくエホバを崇拝できるよう助けるため、またエホバに従わなくなった人たちを正すためです。(サム二 12:1-4それでエホバはナタンをダビデの所に遣わした。ナタンはダビデの所に来て言った。「ある町に2人の男性がいました。1人は裕福な人、もう1人は貧しい人でした。2裕福な人は非常に多くの羊や牛を持っていました。3しかし貧しい人には、自分で買った小さな雌の子羊が1匹いるだけで、ほかには何もいませんでした。その人はその子羊を世話し、子羊はその人の家族と一緒に成長していきました。その人は、少ない食べ物の中から子羊に食べさせ、自分の器から飲ませ、腕の中で寝かせました。子羊は娘のようになりました。4ある時、1人の旅人が裕福な人の所にやって来ました。ところが裕福な人は、その旅人のために自分の羊や牛を振る舞おうとはせず、貧しい人の雌の子羊を取って、それを振る舞いました」。使徒 3:24そして、サムエル以来の全ての預言者も、この時代のことをはっきり告げました。) そういう役割を任されたイスラエル人は、ヨブ記に出てくるエリフから、アドバイスするとき何をどのように言うべきかが学べたはず

13. どのように仲間を元気づけることができますか。

13 私たちにとってどのようにた

14-15. 長老はアドバイスするとき、どのようにエリフに倣えますか。

14 例えばある長老が、会衆の姉妹が落ち込んでいる、と聞いたとします。それで長老はほかの兄弟と一緒に、姉妹を励ますために家に行きます。姉妹はネガティブな気持ちを口にします。集会にも奉仕にも行っているけど楽しくない、と言います。長老はどうするでしょうか。

15 まず、兄弟は姉妹がそのようにつらく感じている本当の理由を知ろうとします。そのために姉妹の話をじっくり聞きます。自分はエホバに愛してなんかもらえないと感じているのでしょうか。「生活上の心配事」でいっぱいになってしまっているのでしょうか。(ルカ 21:34とはいえ、食べ過ぎや飲み過ぎや生活上の心配事(*暮らしのための心配事/日常生活の心配)で心が圧迫されないよう注意していなさい。そうでないと、その日が全く突然に訪れます。)それから、姉妹のよく頑張っているところを褒めます。例えば、気持ちが晴れなくても集会に出席し、伝道に出ていることです。姉妹の状況や落ち込んでいる理由が分かったら、長老は聖書を使い、エホバが姉妹を愛していることを信じられるように助けます。(ガラ 2:20私はキリストと共に杭にくぎ付けにされています。もう自分のためには生きておらず、キリストと結び付いて生きてい

ます(d*生きてるのはもはや私ではなく、私と結び付いて生きているキリストです)。人間としての今の命を、神の子への信仰によって生きているのです。神の子は私を愛し、私のために自分を差し出してくださいました。)

ヨブ記から学び続ける

16. ヨブ記はどのように役立ちますか。

16 ヨブ記は本当にためになる本です。前の記事で考えたように、①つらいことが起きるのを神が止めない理由や、②苦しいときもどんなふうに忍耐できるかを学びます。この記事では③どうすれば良いアドバイスができるかを考えました。ヨブの3人の友人ではなく、エリフに倣いましょう。誰かにアドバイスするときには、ヨブ記から学んだことを思い出してみるのはいかがでしょうか。最近ヨブ記を読んでいないなら、ぜひ読み返してみましよう。ヨブ記は今でもとても役立つ本だからです。

何を学びましたか

1. ヨブの3人の友人の例からすると、アドバイスするときどんなことに気を付けるといいですか

・S4 ①ヨブの話をきちんと聞きもせず、結論を急いだ。②3人のアドバイスは不親切でヨブを傷つけた。③3人は見下した、嫌みっぽくて責めるような話し方をした。ーヨブを助けようとせず、間違いを証明することに夢中になったなどの失敗を避ける必要がある。

・S08 ①アドバイスする前によく事実を確認し、結論を急がない。②聖書を基にしてアドバイスし、自分の考えで話さない。③相手を責めるような冷たい話し方をしないようにする。④エホバについて事実とは違うことを言い、「エホバは厳しい」とか「エホバは愛してくれていない」などと思わせないように注意。(アドバイスするとき、①事実を確認する、②聖書を使う、③温かい話し方をするーを心がける)

2. エリフはヨブにどのようにアドバイスしましたか

・S10 アドバイスする前に、まず自分の感情をコントロールし、怒りを感じていても腹立ち紛れにヨブを非難せず、むしろ自分もヨブと同様に不完全であること伝えてほっとさせた。またヨブの6回の発言のポイントを簡潔にまとめて、ヨブの話をよく聞いていたことを伝えた。

・S11 例えばヨブに名前呼び掛けたり話すチャンスも与えて、思いやり深く敬意を込めてアドバイスした。

・S13 私たちも、預言者たちのように神の考えを聖書から人に伝えます。また、言葉で仲間の兄弟姉妹を慰め、元気づける。

3. ヨブ記から学び続けるにはどうしたらいいですか

・S16 ヨブ記は、①つらいことが起きるのを神が止めない理由や、②苦しいときもどんなふうに忍耐できるか、③どうすれば良いアドバイスができるかを学べる本当にためになる本。

誰かにアドバイスするときには、ヨブ記からエリフの模範を思い出し、最近ヨブ記を読んでいないなら、今でもとても役立つヨブ記をぜひ読み返してみる。